

消防団活動を頑張っています



渡辺 浩清さん
▷1分団1部団員
▷団員歴12年

消防団員は年齢や職業がさまざま、自分とは異なるものの見方や考え方を知ることができるので、消防

団は自分にとって勉強の場にもなっています。大規模災害のときなど、地域に根差した活動ができるのは消防団です。地域の皆さんが安心して暮らせるよう消防団の活動を頑張っています。消火活動を行ったときなど、地域の皆さんに感謝されることがうれしいですし、励みになっています。



岩館 光さん
▷1分団1部団員
▷団員歴2年

東日本大震災のとき、徹夜で地域の安全を見守っている消防団の皆さんの姿を見て、立派な活動をしてい

ると感心しました。そして自分もその活動に加わりたと思い、消防団に入りました。消防団に入ったことで地域の皆さんとコミュニケーションが取りやすくなりましたし、消防団の活動にやりがいも感じています。地域の皆さんには、消防団があるから安心だと思ってもらいたいです。

■消防団員として活動してみませんか？

自分の家、自分の生まれ育ったまち、住み慣れた地域を自分たちで守る。そんな消防団員として、活動してみませんか。

花巻市消防団は、年齢が18歳以上で、市内に居住しているか、または勤務している人であれば性別を問わず入団できます。詳しくは、消防本部総務課へ。

各自の仕事に就きながら、災害時の消防・防災活動や平常時の訓練などに従事する消防団員。その活動は高く評価されています。地域防災力の中核として不可欠な存在といえる消防団は、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

【問い合わせ】
消防本部総務課
(☎22-6121)

もっと教えて消防団のこと！

Q&A

Q1 消防署とはどう違うのですか？

A1 消防本部・消防署に勤務する消防職員が専門の職業であるのに対し、消防団員は各自の仕事に就きながら災害時の消防・防災活動や平常時の訓練、防火啓発活動などに従事します。

Q2 待遇などはどうなっているのですか？

A2 市から報酬や出勤手当などが支給されます。また被服の貸与、公務災害補償などがあり、一定期間以上勤務して退団した際は退職報奨金の支給もあります。

Q3 訓練はいつ行っていますか？

A3 消防団員は、仕事が休みの日や仕事の終わった後などに集まって訓練などを行っています。訓練や活動の回数は消防団によってさまざまですが、会社員の方でも無理のない範囲で行われています。

Q4 女性でも入団できますか？

A4 現在全国で約22,000人、花巻市消防団でも24人の女性消防団員が活躍しています。女性の持つソフトな面を生かして、特に住宅用火災警報器の普及促進、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、住民に対する防災教育や応急手当の普及指導において、女性消防団員が活動しています。また、消火活動の後方支援、ラッパ訓練などにも参加しています。

●【平常時の活動】 消火防災訓練

ターヘリや防災ヘリ、自衛隊ヘリによる傷病者の搬送業務を医療機関と協力して行いました。

● 水防活動
風水害の際、河川などの警戒はもちろん、土のうを準備して適切に積んだりすることも大切な活動です。また、住民の避難や災害復旧作業も支援します。

●【災害時の活動】 消火活動

火災現場での消火を想定した訓練(放水訓練など)を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にも積極的に参加しています。

● 防火啓発活動
各家庭を訪問し、防火指導などの啓発活動を行っています。また、高齢者のお宅を訪問するなど災害時に救助が必要な方を把握することも重要な役割です。

地域を守る消防団



1 消防出初式で行った分列行進
2 消防出初式でラッパ隊が演奏
3 水防訓練での土のうを積む訓練
4 花巻地区支部消防操法競技会の様子
5 消防演習の放水訓練

消防団とは？

消防団は、地域における消防・防災のリーダーとして、平常時・災害時を問わず住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。ここでは、消防団の活動について紹介します。

消防団とは、消防本部・消防署と同様に市の消防機関です。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段はさまざまな仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として、災害などに対応します。

現在の花巻市消防団は、市町の合併に伴い平成19年4月1日に誕生。市内では、23分団、1948人の団員が活動を行っています(平成27年1月1日現在)。

どんな活動をしているの？

消防団は地域で起こる災害に対して、消防本部・消防署と連携しながら迅速に対応します。また災害時だけでなく、平常時にも活動し

ています。主な活動内容は、次のとおりです。

●【災害時の活動】
消火活動
火災が起こった際は、自宅や職場から現場に駆け付けて消火活動を行います。消防隊員よりも先に現場に到着することもあるため、初期消火や消防隊員の後方支援などをその場に応じて展開します。

● 救助活動

災害が起こった場合、地域を知り尽くした消防団の救助活動は大きな力になります。大規模災害時には発生直後から地域と連携し、救助活動や避難誘導を行います。

東日本大震災では、いわて花巻空港に設置された広域搬送拠点施設内で、ドク